

安寿

アプローチ用手すり 支柱スロープ対応式R 施工説明書

- このたびはアプローチ用手すり 支柱スロープ対応式Rをお求めいただきまして、まことにありがとうございます。
- 施工前にこの施工説明書をよくお読み頂き、安全に正しく施工されるようお願いいたします。
- 取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

安全上のご注意

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他人への危害を未然に防止するためのものです。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。




警告 誤った使いかたをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を説明しています。

注意 誤った使いかたをすると「傷害または財産への損害が発生する可能性が想定される」内容を説明しています。


■お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示（図記号）で区分し、説明しています。（下記は絵表示の例です）

❗ 必ず実行していただく「強制」内容を説明しています。   してはいけない「禁止」内容を説明しています。

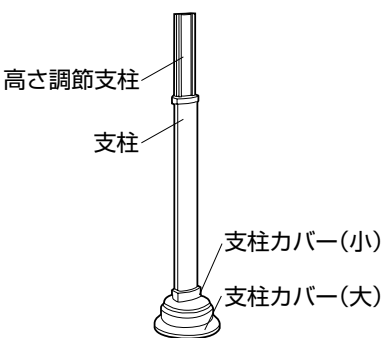
警告

	改造や分解をしないこと けがや破損の原因になります。		転倒防止用ガードレールや防護柵、ベランダの柵、窓格子などや断崖地、転落の恐れのある場所などで使用しないこと 重大事故につながる恐れがあります。
	一般住宅に取り付ける歩行補助手すり以外では使用しないこと 重大事故につながる恐れがあります。		取り付けは必ず指定寸法に従うこと 手すりが破損し、けがの原因になります。

注意

❗	取り付けは必ず取付工事店が行なうこと 取り付けが不安定となり、けがの原因になります。		製品の取り付け後に、ぐらつきやガタつきが無く確実に固定されているか確認すること 手すりが外れたりして、けがの原因になります。
	必ず同梱の固定金具を使うこと 取り付けが不安定となり、けがの原因になります。		アンカーボルトを取り付ける穴の周囲に必ずシーリング剤を塗布すること 手すりが外れたり、取り付け面が壊れたりして、けがの原因になります。
	必ず強度を確保できる地面に取り付けること 手すりが外れたり、取り付け面が壊れたりして、けがの原因になります。		製品に強い応力が加わった状態で無理に取り付けないこと 手すりが折れたり、外れたりしてけがの原因になります。
	ガス・水道メーター及びガス管、水道管の位置を確認して施工すること 施工に支障のある場合は、手すりの位置をずらすか、ガス、水道メーター及びガス管・水道管の移設を行なってください。		埋め込み設置の場合は、養生期間を十分にとり、期間中は重い物をのせたり、手すりをゆすったりしないこと 手すりが外れたり、取り付け面が壊れたりして、けがの原因になります。

各部のなまえ

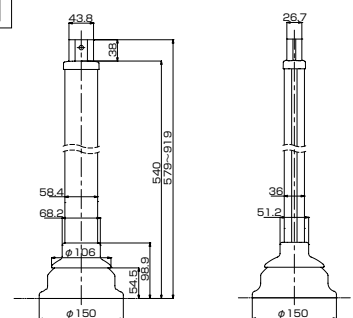


項目	部品名	材質
構成部品	高さ調節支柱	アルミニウム
	支柱	
	支柱カバー大・小	ポリプロピレン
	ねじ類	ステンレス
重量	1.9kg	

- ◇付属品
- ・十字穴付き皿タッピンねじ（高さ固定用）4×16mm 2本
 - ・六角穴付き止めねじ（高さ調節用）M4×8mm 1本
 - ・アンカーボルト φ8×50mm 4本
 - ・六角レンチ（高さ調節用） 1本

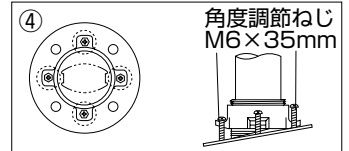
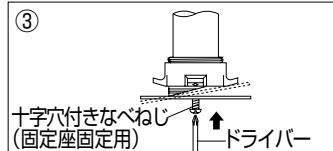
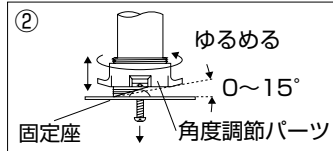
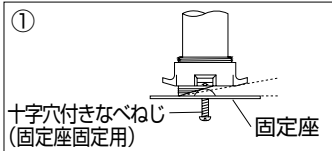
商品寸法図

単位：mm

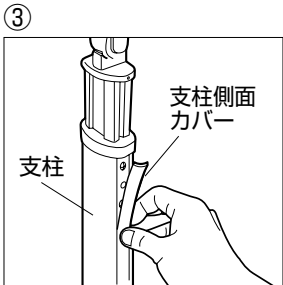
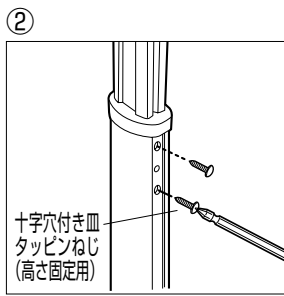
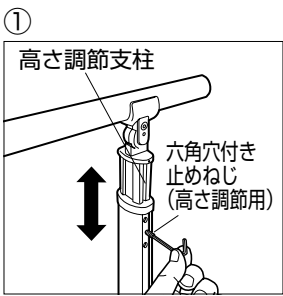
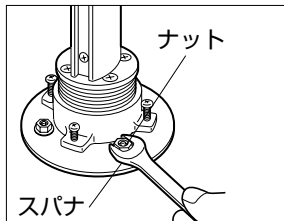
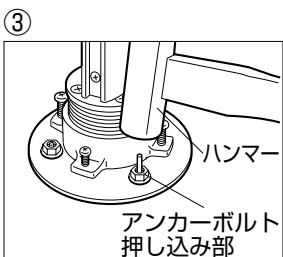
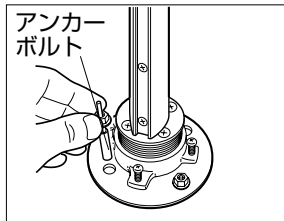
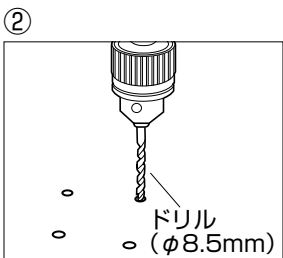
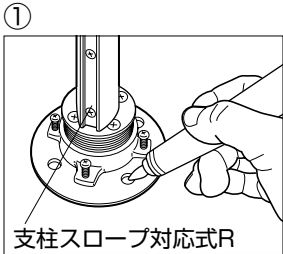


取り付けかた

支柱スロープ対応式R角度調節方法



※固定座がスロープの勾配に合ったら完成です。



支柱の設置方法

- 支柱スロープ対応式Rを設置する場所を決め、アンカーボルトを差し込むための穴位置に印を付けます。(4ヶ所)
- ドリル(ドリル径φ8.5mm)で深さ55mm以上の穴をあけ、穴の中に溜まっているコンクリートの粉をダストポンプで取り除き、アンカーボルトを取り付ける穴の周囲にシーリング材を塗布し、支柱を穴に合わせて仮設置後、固定座の上から付属のアンカーボルトを差し込みます。
- アンカーボルトの押し込み部を充分打ち込み、最後にスパナでナットを締め付け固定します。

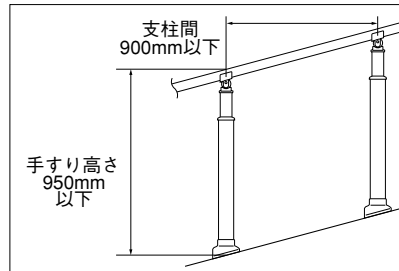


注意
下穴は指定の深さ、大きさであけること(φ8.5mm、深さ55mm以上)
支柱が倒れたりし、けがの原因になります。
支柱が垂直になっているか必ず確認すること
手すりが外れたりして、けがの原因になります。



警告
取り付けは必ず指定寸法に従うこと
手すりが破損し、けがの原因になります。

取り付け指定寸法



手すり高さ調節方法

- 高さ調節支柱をスライドさせ手すりの高さを調節し、支柱側面についている六角穴付き止めねじ(高さ調節用)を付属の六角レンチで締め付け、高さ調節支柱を仮固定します。
- 十字穴付き皿タッピンねじ(高さ調節固定用)で高さ調節支柱を固定します。(2ヶ所)
- 最後に長さを調節した支柱側面カバーを、支柱に取り付けます。